

事務事業名	自転車のまちづくり事業			会計	一般会計		事業種別	政策	開始	18	終了	
H27担当課等名	観光課		H27係等名	エコツーリズム係		H26係等名	エコツーリズム係					
基本計画上の位置づけ	政策	1	多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり									
	施策	13	新しい力による新しい産業づくり									
目的	対象(誰・何を)	自転車を保有している人 自転車に興味がない人						指標名及び単位		26年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージの開催により、「自転車のまち飯田」を全国に発信。飯田のファンを増やし、飯田を訪れる人を増やす。また、市民が、国際レースが当地域で行われることを誇りに思い、自転車に興味を持ち乗って楽しむ人を増やす。						対象指標		飯田市の自転車防犯登録台数:台 45150		
	向上させたい上位施策の成果指標	観光消費額(億円)										
目標	種別	指標名及び単位				26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	イベントに訪れた人(観客数:人)				35000	35000	35000	35000			
	定性目標											
事業概要	<p>1 TOJ(ツアー・オブ・ジャパン)の実施 (1) 実行委員会への負担金支出 (2) 道路使用調整、レース事務局との連絡調整、コース沿線住民・関係企業等依頼、協賛金対応、警備・安全対策等調整実施、大会地元本部運営等</p>											
26年度事業内容	事業内容					名称			活動指標			
	自転車レースの開催 ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージの開催 下久堅周回コース					TOJ観客数			35,000人			
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足						
事業費計(千円)①		8,900	7,300	7,300	7,200							
国庫支出金												
県支出金												
起債												
その他												
一般財源		8,900	7,300	7,300	7,200							
人件費計(千円)②		8,404		6,437								
正規職員所要時間		2,350		1,800								
臨時職員所要時間												
総事業費①+②		17,304	7,300	13,737	7,200							
事業内容・目標達成状況の振り返り	TOJ南信州ステージは、今年で9回目を迎えたが、これまでの積み重ねにより自転車に関心を持つ市民が増えている。平成26年4月には、飯田風越高校内に「自転車競技愛好会」が発足し、中学校時代にTOJを見学して自転車に興味を持った生徒も参加している。サイクリングツアーは、飯田観光協会や伊那路木曽路観光連携会議と連携して、広域的エリアで実施した。											
改革改善の考え方	①問題点	①TOJの経費削減と、協賛企業による資金の確保が問題。 ②TOJ開催地であることのPRを積極的に行い、サイクリングツアー等に国内外からの参加者を増やす必要がある。										
	②改革提案	①安全確保に配慮しながら経費削減を行うために、よりよい運営方法を検討していく。 ②TOJ開催地としてのPRを積極的に行い、飯田を含む広域エリアを対象としたサイクリングプランを紹介していく。										